

平成26年度 奈良県教育委員会が実施した関連行事

No	行事名	期日(期間)	会場	参加対象	内容	参加人数	当日の様子・参加者の感想等
1	みんなあつまれ！いのちがやき フェスティバル	10月25日(土)～26日(日)	うだ・アニマルパーク	幼児・児童・生徒、保護者、地域の人々	世代を超え、子どもたちや保護者・地域の方々、県内の学校・教育関係者が、うだ・アニマルパークに結集し、いのちの大切さをテーマにした様々な体験や心の交流を通して、「いのち」「絆」「ぬくもり」の大切さが実感できる機会を提供することで、子どもたちをはじめとする県民の思いやりの心を育み、規範意識、社会性を高める契機とする。	6,600	<p>○開会では、榛生昇陽高等学校吹奏楽部による演奏や香芝東中学校合唱部による「奈良県民の歌」、また田中県議会議員による挨拶等によるセレモニーを行った。</p> <p>○いのちの教育発表会では、平城小学校、大宇陀小学校、葛城小学校による実践発表を行った。</p> <p>○プログラムでは、オープニングコンサート、ストリートダンス、絵本の世界、大和茶カフェ、いのちいきいき！ねんどあそび、革イイ！キーホルダーづくり、豚汁のふるまい、地域の特産物フェア、もちつき大会等のイベントに、県内の中学生・高校生164名がスタッフとして参加し、企画・運営した。</p> <p>○参加者からは、「命に関するイベントに子どもたちが参画するこのようなフェスティバルはよいと思う」などの声をいただいている。</p> <p>参加者アンケートでは、96.5%の方々から「この催しに参加してよかった。」との回答をいただいた。</p> <p>また、参加者から、次のような意見や感想をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> * たくさんの子どもたちが参加し、ふだんの学習等の実践成果を発表しておられ、そういう場としてこのフェスティバルを実施されているのはとてもよいと思いました。学習館内の「ねんどあそび」に参加しましたが、雑然とした中に、いろいろなコーナーがあって参加しにくい感じでした。 * 会場内に2～3箇所程度、イベントがわかる(内容や時間)ような案内板があればいいと思う。知っていればやりたかった・・・というようなことがあったので・・・ * 高校生によるボランティアを次回もお願いします。優しくってとてもよかった。 * スタッフの笑顔が素敵だった。子どもの興味のあることばかりで、とても良かったです。
2	みんなでチャレンジ！	平成27年2月14日(土)	県立権原公苑第1体育館	幼児・小学生とその保護者	第1部では「チャレンジ運動大会」と題し、仲間と力を合わせて「ベアなわとび」や「8の字大なわとび」の記録に挑戦することを通して体力の向上を図る。また、第2部では、県のホームページやセミナー等で紹介している運動・遊びを親子や友達同士で行うことを通じて親子のスキンシップや友情を深め、体を動かすことの楽しさを体験する機会とする。	1,200	<p>昨年に比べて、第1部への参加児童数と学校数が増え、大いに盛り上がった。初出場の学校は、他校の児童のがんばる姿に刺激を受け、来年への期待を膨らませていた。第2部では、たくさんの幼児・児童とその保護者が参加され、佐藤弘道お兄さんの「らくがき子体操クラブ」のスタッフの指導のもと、体を動かすことの楽しさを味わっていただくことができた。このイベントを通して、体力向上への意識をさらに高めることができた。</p>
3	平成26年度奈良県公立学校優秀教職員表彰	10月28日(火)	県庁(第一会議室)	「奈良県公立学校優秀教職員表彰実施要綱」に基づき選考された被表彰者	職務に精励し、他の教職員の模範となる教育活動を実践している教職員及び教職員グループを表彰し、表彰実践事例を公表することにより、県内の学校教育の活性化を図る。	26	<p>表彰式の実施後、小・中・高の校種別に、それぞれの代表者から表彰された事例についての実践発表があった。</p> <p>小学校：感謝の心を育成する「魅力ある学級・学校づくり」の取組について</p> <p>中学校：地域とつながる生徒指導について</p> <p>高等学校：魅力ある専門学科づくりに向けた取組について</p>

平成26年度 奈良県教育委員会が実施した関連行事

N o	行事名	期日(期間)	会 場	参加対象	内 容	参加人数	当日の様子・参加者の感想等
4	第23回 奈良県産業教育フェア	11月8日(土)	イオンモール橿原	小・中学生及びその保護者、教育関係者、産業界及び広く県民等	研究・体験発表、作品展示・実演・販売実習、学校紹介、進路相談、即売、体験コーナー	6,799	参加者から次のような感想をいただいた。 * 実際に行かないと分からない学校(授業)を知ることができて、よい勉強になった。 * 早くから専門的な勉強ができることは素晴らしいことだと思った。自分の子どもの進学時にも参考にしたいし、現役高校生を応援したくなった。 * 高校生の笑顔が輝いていた。ありがとうございました。 * たくさん的高校生と交流できてよかった。
5	平成26年度 科学の甲子園 奈良県大会	11月15日(土)	県立教育研究所	県内高校1、2年生 (中等教育学校後期課程及び高等専門学校にあっては同年次の生徒又は学生)	第4回科学の甲子園(全国大会)の代表選考会 科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を行う。	29	参加者から次のような感想をいただいた。 * とても、難しく解くことができなくて、悔しかった。 * とても楽しかった。来年もぜひ、参加したい。 * 興味のある問題が出ていて、おもしろかった。 * 難しくわからなかったが、将来は解けるようになりたい。 * 科学のおもしろさをあらためて実感した。
6	平成26年度第45回 学校音楽祭	10月25日(土)	奈良県文化会館国際ホール	出演者 一幼・小・中・高・大学生 観客 一幼・小・中・高・大学生及び保護者、教育関係者、県民等	幼稚園児、小学生、中学生、高校生、大学生が一堂に会し、声楽(合唱、独唱等)や、器楽(器楽合奏、ギター合奏、吹奏楽、オーケストラ等)の発表をして各校種の交流を図るとともに、本県における音楽教育の振興と音楽文化の向上発展に役立てる。	1,866	この音楽祭は小学校から大学まで様々な校種、ジャンル(種目)が一堂に会する県下でも数少ない貴重な音楽会である。今年度は、出演者全員で演奏する場面を設定したことにより、児童生徒たちにとっては感動を共有できるよい機会となった。器楽部門(小1校、中2校、高2校、大1校)と声楽部門(幼2園、小3校、中9校、高9校、大1校)でそれぞれの団体が単独や合同で演奏を発表し、各園、校とも、表現したい思いや意図をしつかりもち、日頃の練習の成果を発揮しようと懸命に音楽で表現していた。
7	奈良県高等学校PTA 「家庭教育」指導者研修会 (後期)	10月1日(水)	県立教育研究所	各高等学校・特別支援学校のPTA役員・家庭教育学級生	青少年の健全育成を目指して、家庭教育本来の意味を考え、学び合い、家庭教育の在り方について知識を深めるための研修講座。 講義「笑顔の底力」 講師 NPO法人ほがらか絵本畑 理事長 三浦伸也氏	115	参加者から次のような感想をいただいた。 * 家庭の大切さを再認識しました。 * 温度差のない人間関係の大切さ、温度差を埋める力の大切さを勉強しました。 * 子どもとの接し方を振り返る機会となりました。 * 絵本の力、笑顔の底力を感じることができました。
8	家庭教育啓発チーム 「きらら」第4回研修会	10月5日(日)	桜井市まほろばセンター	県内高校生	○アクティビティⅠ ～コミュニケーションカアップをめざして④～ ○アクティビティⅣ ～子どもたちの「モデル」となる大人になるために～	36	参加者から次のような感想をいただいた。 * 「みんなあつまれ！いのち かがやき フェスティバル」におけるきららの森のプース運営に向け、子どもたちに何を伝えたらよいか、何を準備したらよいかなど考えることができて良かった。 * 一緒にみんなで踊ったりすることは一体感ができ、とても楽しく良かった。

平成26年度 奈良県教育委員会が実施した関連行事

No	行事名	期日(期間)	会場	参加対象	内容	参加人数	当日の様子・参加者の感想等
9	読み聞かせ講座	10月10日(金)	県立教育研究所	読み聞かせボランティア・図書館職員・教職員等	読み聞かせの意義や実践方法について理解を深め、子どもに本の魅力を伝えるための方法を学び、地域教育力を向上させるための研修講座。 講義「本の楽しさ届けよう!」・グループ演習 講師 子どもの本屋「こびすくらぶ」 茅谷千恵子 氏	30	参加者から次のような感想をいただいた。 * 本を読み聞かせする時に心がけることや、選書について、すぐに実践できる内容でとても分かりやすかった。 * 読み聞かせでは、やり方が大切ではなく、何を伝えたいか、楽しんでもらいたいかが大切だと分かった。先生の実演があり、自分の読み方との違いが分かりやすく活用していけると思った。 * グループワークで普段の自分の読み方のクセが分かった。 * 実際に色んな本の紹介をしてくださり参考になった。ぜひ図書館の蔵書にしたい。 * 保育の現場で活用したい。
10	家庭教育学級リーダー研修会	10月15日(水)	県立教育研究所	PTA役員・家庭教育学級生	心身ともに健全な子どもの育成を目指して、家庭教育をめぐる今日的な課題や今後の在り方について研修を深め、家庭教育の充実に向けて、リーダーとしての力量の向上を図るための研修講座。 講義「子育てでストレスと上手に付き合おう～より良い子育て 自分育てのために～」 講師 女性ライフサイクル研究所フェリアン 森崎和代 氏	151	参加者から次のような感想をいただいた。 * ストレスの仕組みや自分のタイプ、対処法を知ることができてよかった。これからの生き方や子どもの育て方を見つめなおすよい機会となった。 * 子どもではなく母親に焦点を当てた内容でとてもうれしかった。 * 男性の立場では分かりにくい女性の立場が見えた気がした。また、自分のストレスについての考え方が分かり、非情によかった。 * 講義を受けて自分の気持ちが軽くなったので、同じ子育て中のお母さんにも聞いてもらいたいと思った。
11	人権教育啓発講座 (フィールドワーク1・2)	10月28日(火) 11月21日(金)	斑鳩町内 橿原市内	市町村行政職員	人権の観点から、フィールドワークを通して地域の歴史や文化を見つめなおし、人権を尊重するまちづくりの在り方について理解を深め、一人一人の人権感覚、人権意識を向上させるための研修講座。 講義・フィールドワーク 講師 斑鳩町: 同和問題関係史料センター 奥本武裕係長 橿原市: 同和問題関係史料センター 井岡康時所長	53	参加者から次のような感想をいただいた。 * 人権を歴史に結びつけて身近に感じることができた。 * まちの成り立ち、次代の流れがまちづくりを考えるうえでの知識になると思う。 * 郷土の隠れた歴史を知り得たことは意義深いものがあつた。 * 各々の地方でおきている問題を解決するためには、まず根本にある文化・伝統を理解することが大切であると再認識した。 * 川の水利権の問題を活用した経緯など、話し合いを根気よく続けることは現在でも必要だと感じた。 * 地域の歴史を知ること、地域の「今」を知るうえで必要なことだと思った。
12	平成25・26年度 文部科学省・奈良県教育委員会指定 人権教育研究発表会 (上牧町立上牧中学校)	10月31日(金)	上牧町立上牧中学校	各学校(園)の教職員等	①研究授業 ②研究発表、研究協議 ③記念講演	200	県内外から教員・行政職員等が参加し、人権教育の実践について研修を深めた。 午前中の研究授業に引き続き、午後は研究発表と記念講演が行われた。全校体制で人権教育の推進に取り組まれている上牧中学校の実践に参加者からは賞賛の声が寄せられていた。

平成26年度 奈良県教育委員会が実施した関連行事

No	行事名	期日(期間)	会 場	参加対象	内 容	参加人数	当日の様子・参加者の感想等
13	人権教育推進(児童生徒支援)教員研修会並びに人権教育実践力up講座	11月6日(木)	桜井市立図書館	県内公立小中学校の人権教育推進(児童生徒支援)教員他	①グループ別討議 ②講演 等	80	県内の人権教育推進(児童生徒支援)教員等が参加し、「一人一人を大切に作る学校づくり～自尊感情の醸成～」をテーマに各校の自尊感情醸成に向けた取組を交流した。その後、各グループの話し合いで出された疑問や課題を講師への質問という形でまとめ発表し、全体化を図った。後半は、「子どもの心がわかる先生になりたい！」をテーマに明石一朗さんの講演から、自尊感情の醸成につながる数多くの事例を挙げ教示していただいた。また、講演についてのアンケート結果では、「とても役立つ内容だった」又は「役立つ内容だった」と回答した参加者が100%であった。
14	特別支援教育啓発講座(兼)人権教育啓発講座2	12月2日(火)	県立教育研究所	市町村行政職員一般	人権に関わる今日的な課題解決のため、一人一人の人権感覚、人権意識の向上の大切さについて広く啓発するとともに、特別な配慮が必要な子どもたちへの理解と支援の在り方及びキャリア教育と社会参画の必要性について学ぶための研修講座。 講義「働く大人になるために～幼・小期から始めるキャリア教育と社会参画の必要性について～」 講師 サポート21・なら 代表 馬郡繁 氏	144	参加者から次のような感想をいただいた。 * 小学校の特別支援学級を担当していますが、将来を見据えて今必要なことを見極めたいと思っていました。違う立場からストレートなアドバイスたいへん役に立ちました。 * 子どもが自立して仕事につけるのかというのは常に不安に感じて生活しているので、このようなお話を聞くことにはとても興味があります。身近に感じることでのお話でした。また機会をつくってもらいたいです。 * 社会的な立場や豊かな経験からの特別支援教育、人権教育はとても分かりやすく、実践に合った内容でたいへん良かったと思う。 * 小学部のステージでのキャリア教育について勉強中です。働くことへ直接結びつけることが難しいのですが、「人の役に立つこと」「必要とされること」をどのように育てていくか考えていかなければならない。 * 県内の行政職員として、今回聞いた話をもとに知識を広めていきたい。
15	識字合同学習会(第13回ふれあい広場)	12月13日(土)	明日香村立中央公民館	市町村の識字学級生及び関係者、日本語教室・中学校夜間学級・自主夜間中学校の生徒及び関係者、県民、県・市町村職員、学校教職員、社会教育関係団体指導者	①識字学級等の取組紹介 ②識字学級生等の作文発表 ③識字学級生等の作品展示 等	136	県内の識字学級や夜間学級の生徒、識字関係者、県職員、市町村職員、学校教職員、社会教育関係団体指導者、県民、約140名が参加した。県内識字学級等の活動紹介、識字学級生等の作文発表や作品展示等を通して、識字学級等の理解、県内の識字活動のさらなる発展を図った。その他、地域で活動している方々による大正琴や和太鼓の演奏、落語高座を行った。 参加者から次のような感想をいただいた。 * 識字学級という言葉は知っていましたが、今日のような活動をしておられるという事は知りませんでした。発表者の皆様も生き生きしておられ、作品も立派でした。

平成26年度 奈良県教育委員会が実施した関連行事

No	行事名	期日(期間)	会 場	参加対象	内 容	参加人数	当日の様子・参加者の感想等
16	人権教育 ミドルリーダー育成講座	12月24日(水)	奈良県社会福祉総合センター	平成26年度人権教育ミドルリーダー育成講座受講者	①講義及び演習 ②グループ別討議	32	受講者に加え、奈良県都市人権教育担当指導主事の参加も得て、午前・午後を通して研修を行った。受講者がファシリテーターとして進めるアクティビティに続いて、「一人一人のもちあじを尊重した集団づくりに向けて」をテーマに講師先生による講義・演習を行った。演習は、6グループに分かれて、①安心ルール②もちあじ③気持ちとその表現④もめごと解決の4つのワークショップを行い、集団づくりの取組を推進するための指導方法等の在り方について、体験を通して具体的に学び合った。参加者から次のような感想をいただいた。 * 学級(学年)づくりの基盤は、「安心できること」ということを身をもって体験することができました。大人も安心できる集団にいられるということは、とても大切なことだと思いました。早速、自分のクラスで実践したいです。また、それを学年、学校全体に広めていきたいとも思います。
17	史跡頭塔 秋の特別公開	10月24日(金)～11月12日(水)	史跡頭塔地内 (奈良市高畑町921番地)	一般の方	史跡頭塔の特別公開を実施します。通常は見学する際に、現地管理人への事前予約が必要ですが、特別公開の期間中は事前予約無しで見学できます。また、現地にはボランティアガイドがあり、史跡頭塔についての説明をします。 協力金:1人300円(10名以上の団体は1人200円)	2,000	見学者からは、頭塔の存在をもっと知ってもらうために、広報にさらに力を入れて欲しいとの意見を多くいただいた。また、外国人の来客者も増えており、将来を見据えて外国語での看板標識の設置などの検討が必要である。広報については、昨年からフェイスブックを導入し、運営しており、その結果、関東圏からの来客者の割合が上昇するという結果につながっていると考えられる。多くの人に知ってもらうために、観光案内場や博物館など人が多く訪れる場所にチラシを積極的に置いてもらうように今後改善していく。
18	橿原考古学研究所 附属博物館 秋季特別展・特別陳列 「飛鳥宮と難波宮・大津宮」	10月11日(土)～11月30日(日) 毎週月曜日休館 (月曜日が祝日の場合は開館、その翌日が休館)	橿原考古学研究所附属博物館	県民	秋季特別展「飛鳥宮～天武天皇がおい求めた宮殿～」 Ⅰ 飛鳥宮の探求 Ⅱ 飛鳥浄御原宮 特別陳列「難波宮と大津宮～飛鳥宮・藤原京への道のり～」 Ⅰ 難波長柄豊碕宮 Ⅱ 近江大津宮	10,096	展示品の中でも「取ったら災いが起こるぞ」などの文字が刻まれた土器がTVや新聞で取り上げられ、たくさんの人に来館していただいた。

平成26年度 奈良県教育委員会が実施した関連行事

No	行事名	期日(期間)	会場	参加対象	内容	参加人数	当日の様子・参加者の感想等
19	橿原考古学研究所 附属博物館 秋季特別展・特別陳列 「飛鳥宮と難波宮・大津宮」列品解説	10月19日(日)・11月2日(日) 11月23日(日) 各日10時30分から約1時間	橿原考古学研究所附属博物館 特別展示室	県民	秋季特別展・特別陳列「飛鳥宮と難波宮・大津宮」の展示品について担当学芸員が解説します。	269	担当学芸員の生の解説が聞けるとあって、数多くの考古学ファンが集まった。
20	橿原考古学研究所 附属博物館 秋季特別展・特別陳列 「飛鳥宮と難波宮・大津宮」研究講座	10月19日(日)・11月2日(日) 11月23日(日) 各日13時～16時15分	奈良県立橿原考古学研究所 講堂	県民	第1回 重見 泰 氏 「飛鳥浄御原宮の成立」 和田 萃 氏 「『日本書紀』・『古事記』が編纂された飛鳥浄御原宮」 第2回 吉水 真彦 氏 「考古学から見た近江遷都-近江大津宮はどこまで明らかになったのか-」 館野 和己 氏 「古代都城史上における大津宮」 第3回 李 陽浩 氏 「難波長柄豊碕宮の先進性と在来性」 積山 浩 氏 「7世紀の東アジアと前期難波宮」	870	宮ごとの講座となったので、「各宮の特徴がよく分かった。」との声が聞かれた。
21	飛鳥・藤原の遺跡見学会	11月15日(日) 10時半～16時	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	県民	特別展・特別陳列の解説後に、飛鳥・藤原地域の遺跡を巡ります。	195	6.4kmという距離を歩いたが、怪我をする人もなく好評のうちに終了した。